

ご寄付の  
お願い



ひとり親と子どもたちの今と未来の笑顔をまもる活動は、  
みなさまのご寄付に支えられています。

#### 毎月の寄付で支える（マンスリーサポーター）

##### クレジットカード

1000 円から一定額を毎月継続決済

##### ゆうちょの自動払込

「ゆうちょ銀行自動払込利用申込書」をご請求ください

ホームページの「寄付のお願い」を  
ご覧ください。  
<https://www.single-mama.com/donation/>



#### 都度寄付で支える

銀行

##### 三菱 UFJ 銀行

高田馬場駅前支店

口座番号 普通：4536336

特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ

##### ゆうちょ銀行

〇一九（ゼロイチキュウ）店（店番 019）

口座番号 当座：0152781

NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ

※銀行振込の前にホームページの「寄付申し込みフォーム」から、またはファックスやメールで、  
お名前・ご住所、寄付予定日・金額をお知らせください。

FAX： 03-3239-6590

メール： [supporter@single-mama.com](mailto:supporter@single-mama.com)



郵便振替

00170-4-152781

NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ

クレジットカード

クレジットカードも  
ご利用いただけます。

ホームページの「寄付のお願い」を  
ご覧ください。  
<https://www.single-mama.com/donation/>



single  
mothers  
for m  
しんぐるまざあず・ふぉーらむ

# Annual Report 2024

特定非営利活動法人  
しんぐるまざあず・ふぉーらむ

## 2024年度 活動報告書



single  
mothers  
for m  
しんぐるまざあず・ふぉーらむ

特定非営利活動法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-8-9 ニューシティハイツ飯田橋 402

TEL：03-3263-1519 FAX：03-3239-6590

MAIL： [info@single-mama.com](mailto:info@single-mama.com) URL： <https://www.single-mama.com>

しんぐるまざあず



# 2025 年、 しんぐるまざあず・ふぉーらむは 新体制へ



## 退任のご挨拶 赤石 千衣子

しんぐるまざあず・ふぉーらむに関心を寄せてくださっているみなさま、ご寄付をくださっているみなさま、本当にありがとうございます。

このたび、わたくし赤石千衣子は、しんぐるまざあず・ふぉーらむの理事長を退任いたしました。

理事長在任中は心温まる支援をたまわり、ひとり親と子どもたちの支援について、さまざまな取り組みをさせていただくことができました。改めて御礼申し上げます。また、2023 年に発覚した会計不正の問題に関しましては、みなさまに多大なるご迷惑をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。その後、団体は着実に体制を整備しております。

後任には、小森雅子理事が就任いたします。新体制のもと、ひとり親家庭支援の充実に向け、さらにご支援をたまわりますよう、切にお願い申し上げます。

今後、わたくしは、ひとり親家庭サポート団体全国協議会の理事長として、全国のひとり親家庭支援団体のサポートをしてまいります。

引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



## 就任のご挨拶 小森 雅子

新しくしんぐるまざあず・ふぉーらむの理事長に就任した小森です。ひとり親家庭に暮らす親も子も、それぞれが安心して将来に希望を描けるような社会にしていきたいと決意を新たにしています。

私自身もひとり親として子育てをし、この団体の存在やその情報に助けられた思いがあり、6 年前に入職しました。ひとり親をめぐる環境は少しずつ改善されてきた部分もありますが、困難な状況に置かれている親子が多いことに変わりはありません。昨今の物価高、とりわけ主食であるお米の値上がりには心が痛む思いです。

しんぐるまざあず・ふぉーらむの強みは、いつも当事者の視点を大切に、支援とともに情報発信や政策提言にも取り組んできたことです。これからも、時代の変化に対応した生活支援や就労支援などの事業を進めるとともに、団体の基盤強化にも取り組み、持続可能な団体としてまいります。

引き続き、皆さまの温かいご支援をたまわりたく、心よりお願い申し上げます。

2025 年 7 月

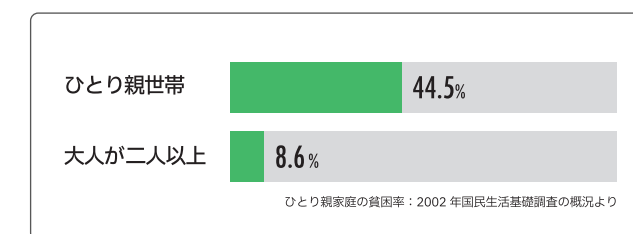
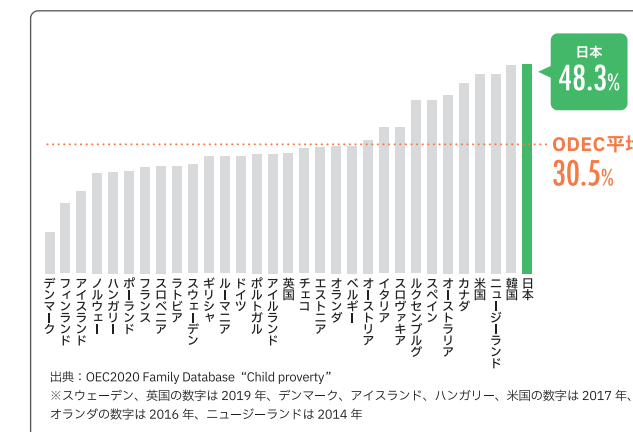
# 5つの柱でひとり親をサポートします。

- 1 就労支援 ..... 明日に花咲く | きらりチャレンジ | はあと
- 2 生活支援 ..... ほっとあんしん便 | 新入学祝い金 | 親子イベント | マイブックプレゼント
- 3 相談支援 ..... グループ相談会(ママカフェ) | 電話相談 | メール相談
- 4 調査・政策提言 ..... ひとり親家庭就労生活調査 | 子どもの貧困対策提言 | 教育費サポートブック 情報発信
- 5 他団体支援 ..... だいじょうぶだよ！基金 | ひとり親家庭サポート団体全国協議会

## ひとり親家庭の現状

### 相対的貧困率

日本のひとり親家庭の相対的貧困率は先進国で最悪のレベルです。相対的貧困率とは、世帯所得をもとに国民一人ひとりの所得を計算して順番に並べ、真ん中の人の所得の半分に満たない人の割合です。

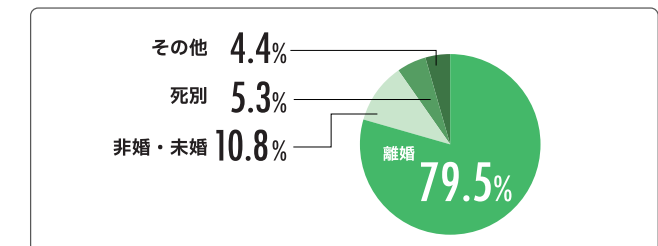


### 母子世帯数

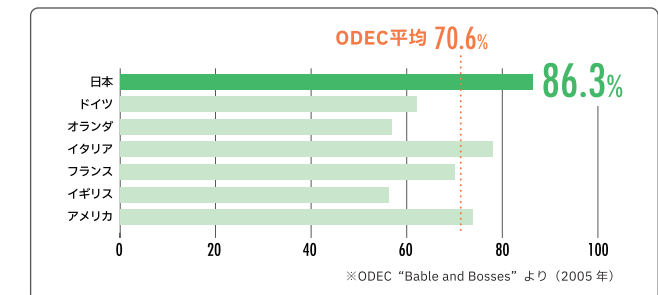
日本の母子世帯数は推計によると約 119 万 5,000 世帯です。これは、子どもが 20 歳まで、同居親族のいる方も含めた数です。(父子世帯数は 14 万 9,000 世帯)



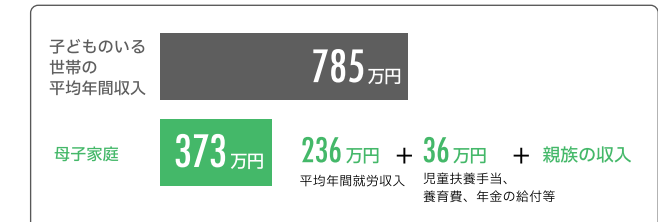
### 母子世帯になった理由



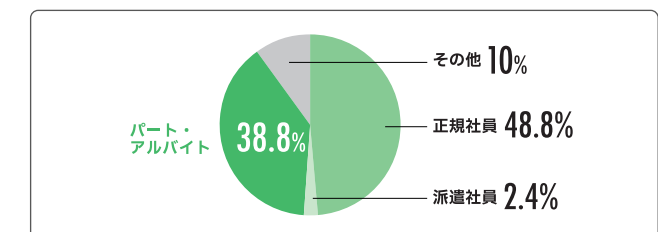
### 母子世帯の母の就業率



### 母子世帯の平均収入



### シングルマザーの就労形態



出典：令和 3 年度ひとり親世帯等調査など

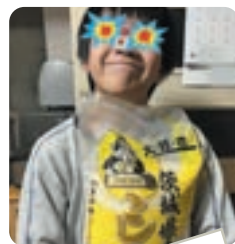


食料支援  
(定期)

ほっとあんしん便

のべ 19,469 世帯

2020年、コロナ下で始めた大規模食料支援を 2024 年度も継続しました。2カ月に一度、のべ 19,469 世帯に支援パッケージをお届けしました。内容はお米 5kg と食品、雑貨など。茨城県つくばみらい市からは、ふるなびによる「ふるさと納税」の返礼品のお米を、納税者のご厚意によりご寄付いただきました。物価高騰、わけでもお米の価格が前年の 2 倍以上になる中、受け取った方からは「命綱の支援」「我が家の救世主のお米」などのコメントが多く寄せられました。パッケージには「ほっと通信」を同梱。子育てに関する話題や節約の工夫、ひとり親支援策の最新情報などを掲載しました。



フード・フォー・キッズ  
(FFK) 2024

のべ 1,800 世帯

子どもが3人以上いる多子世帯を対象に、ニュースキンとセカンド・ハーベスト・ジャパンの協力により、食料支援を行いました。隔月でのべ 1,800 世帯に食料パッケージをお送りしました。



食料支援  
(緊急)

のべ 100 世帯

「明日食べるものがない」「赤ちゃんのおむつやミルクがない」など緊急の相談に対応し、宅配便で米や食品を送りました。おむつやミルクはアマゾンのサイトで注文し、発送。2024 年度は約 100 世帯を支援しました。

新入学  
お祝い金

お祝い金  
支給 465 人

子どもの入学時は、制服や指定のかばん・靴、学用品などに多額の費用がかかります。貯蓄の少ないひとり親家庭の子どもたちが安心して進学できるように、「おめでとう」の気持ちも込めて、2015 年から「新入学お祝い金」を贈っています。



ランドセル  
贈呈 108 人



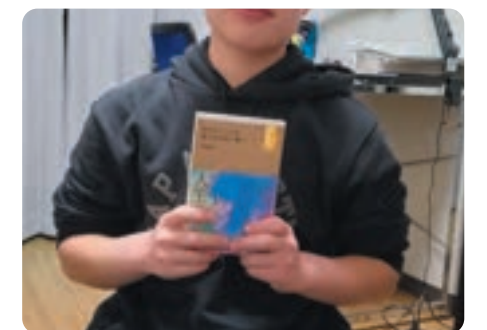
2025 年 3 月、中学生以上の 465 人に新入学お祝い金を支給しました。内訳は中学生(2万円)158人、高校生(4万円)200人、専門学校・大学生(2万円)107人です。児童扶養手当全部支給レベルの収入の世帯を中心に独自基準を設定し、外部委員を招いて対象者を選考しました。また、小学校に入学する子どもたち 108 人に、ランドセルを贈りました。ランドセルは株式会社協和（ふわりい基金）のご協力により、提供されました。

マイ・ブック  
プレゼント

マイ・ブック  
贈呈 5,035 人



ひとり親家庭の子どもたちは、経済的に困難な状況にあり、なかなか「自分の本」を買うことができません。それが読書経験や学びの格差につながっています。「自分の本」を持ち、読むことによる楽しさを知ってほしいと出版社の在庫をご提供いただき、「マイ・ブック・プレゼント」を実施しました。2024 年 12 月のクリスマス前、就学前から高校生までの 5,035 人に、年齢に合った本をお届けすることができました。





## 生活支援

### 親子イベント

のべ **184** 人参加

経済的な理由で子どもをどこかに連れていくことができない、時間や人手に余裕がない——そんなひとり親と子どもたちのために、年 8 回、野外活動などの親子イベントを開催。「だいじょうぶだよ！基金」を活用したメイクスマイルの事業として、会員を対象に実施しました。のべ 184 人が参加しました。



- 4月 高尾山に登ろう (25 人)
- 7月 アンデルセン公園で水遊びをしよう (24 人)
- 8月 バーベキュー&川遊びをしよう (28 人)
- 9月 若洲海浜公園で海釣りを楽しもう (26 人)
- 10月 御岳山に登って、温泉に入ろう (10 人)
- 11月 ありのみコースでアスレチックをしよう (13 人)
- 12月 アイススケート&クリスマス会をしよう (30 人)
- 1月 小金井公園で遊ぼう (28 人)



このほか、子どもの職業体験施設「キッザニア」の大和証券プレミアムナイト (950人参加) をはじめ、東京ステーションホテル見学ツアー&ランチ、「はじめてのクラシック」など各種コンサートに企業のご招待やご寄付を受け、メールマガジンで親子の参加を募りました。

## 相談支援

### 電話相談 メール相談

電話相談 **883** 件 メール相談 **562** 件

毎週火曜・木曜の 16 時～21 時、相談員 7 人がローテーションを組み、電話相談に応じています。メール相談は、随時受け付けています。2024 年度の電話相談は 883 件、メール相談は 562 件でした。相談をきっかけに緊急の食料支援、就労支援、公的支援や他団体の支援につながることもあります。



### グループ 相談会 (ママカフェ)

同じシングルマザーという立場で話し、「ひとりじゃない」という安心感を得ることができる場所として、「ママカフェ」を開いています。しんぐるまざあず・ふぉーらむのファシリテーターが運営する「安全・安心」が保たれた場所です。

### オンラインのママカフェ

15 回開催 のべ **83** 人参加

月 1～2 回のペースで開催、2024 年度は 15 回開催し、83 人が参加しました。「不登校」「セルフケア」「共同親権」などテーマを決め、夜の時間帯にも開催しました。

### 死別を経験した方の グリーフケア講座&ママカフェ

7 人参加

2 月、結・しづやで開き、7 人が参加しました。講師は死別遺族でもある臨床心理士の大岡友子さん。「同じ体験をした死別遺族に出会えてよかった」という感想がきかれました。

### 対面のママカフェ

のべ **49** 人参加

世田谷区立男女共同参画センターらぷらす (偶数月の第 2 土曜日) と、主婦会館 (奇数月の第 3 土曜日) 等に当団体からファシリテーターを派遣しています。49 人が参加しました。

### ファシリ テーター 研修



グループ相談会 (ママカフェ) のファシリテーターを養成するための研修を提供しました。2024 年度は 13 人が受講しました。ママカフェを運営する際の「安全安心のルール」や模擬相談などのワークショップを通して、実践的な知識を身につけました。

相談員インタビュー しんぐるまざあず・ふぉーらむの相談にはどんな声が寄せられるのでしょうか？相談員の方に聞きました。

**Aさん：** 最近の傾向は、圧倒的に食料支援の希望が多いです。コロナ前まで女性は困り切る手前での訴えが多かった。でも、このところ本当に「お金がまったくない」「食べ物がない」という相談が増えました。

**Bさん：** 1 人の問題が多層にわたっているのも特徴です。相談が 1 つだけというのはあり得ない。生活困窮に、離婚後の面会交流、自分のメンタル不調、子どもの不登校、DV 被害などが何重にも重なっています。

**Cさん：** 最初からすべての問題が相談に上がってくるわけではなくて、相談する人にも自覚がないこともあります。話しているうちに「そういえば……」と別の悩みが出てくることが多い。

**Aさん：** 「つながって話ができてよかった」と言われることが一番嬉し

いですね。すぐに問題が解決しなくても、「他に聞いてくれるところがあった」「安心して話ことができました」と言われる方が多いです。

**Bさん：** 心がけているのは多重の困難をひもとくような声かけですね。最初に「よく電話してくれましたね」とねぎらって、それから一緒に問題を整理していくようにしています。

**Cさん：** 当事者団体だけど自分の経験を押しつけないようにしています。女性、生活困窮、子育てのワンストップ支援ができるのがしんぐるまざあず・ふぉーらむの相談の強み。ここから就労支援につながる方もいます。相談員として定期的に研修や情報共有を行い、制度や知識のアップデートを心がけています。



# 就労支援

オンラインキャリア  
支援プログラム  
「明日に花咲く」

25人参加



東京スター銀行としんぐるまざあず・ふぉーむが提携して贈る就労支援プログラムです。6 期目の 2024 年は 10 月 6 日～12 月 1 日の隔週日曜日、全 5 回のオンライン講座を開きました。全国から 25 人が参加し、コミュニケーションやキャリアデザイン、ビジネスマナーについて学びました。メンターによる丁寧なサポートを受け、就労意欲が向上。畑違いの分野への転職や希望の職種への就職につながった人もいました。

高卒認定試験サポート  
「きらり  
チャレンジ」

33人支援



家庭の事情で高校進学や卒業をあきらめたり、妊娠・出産でやむなく退学したり。シングルマザーの 11% の最終学歴が中卒です。高卒資格がないために就職・転職が難しく収入が低い状況を改善しようと、2022 年から高等学校卒業程度認定試験の受験を応援しています。受験料を支給、勉強のためのテキスト代を補助し、自治体による教育費支援事業についての情報提供も行いました。高卒認定試験に実績のある一般社団法人栃木県若年者支援機構の協力を得て、学習の進め方についての相談や通信教育も提供しました。2024 年度は 33 人が申し込み、6 人が受験、3 人が全科目合格を果たしました。

人栃木県若年者支援機構の協力を得て、学習の進め方についての相談や通信教育も提供しました。2024 年度は 33 人が申し込み、6 人が受験、3 人が全科目合格を果たしました。

生活サポート  
基金事業

90人相談

東京都の ESG 投資事業を原資としたソーシャルファンド「生活サポート基金」による就労支援を行いました。

## キャリア相談

シングルマザーの仕事探しや職場への定着、キャリアアップにつなげるため、就労相談をオンラインで実施しました。4 人のキャリアコンサルタントがのべ 90 人から相談を受けました。土日祝日や夜間の相談枠が好評でした。ここから生活支援、相談支援につながった方もいます。

## 就労支援セミナー

15人参加

### Power Point 講座

2024 年 6 月 15 日 受講生 15 人  
講師：瀧川仁子さん（パソコンインストラクター、キャリアコンサルタント技能士 2 級）



14人参加

### はじめてのパソコン講座

2024 年 10 月 12 日～11 月 9 日（全 3 回）受講生 14 人  
講師：瀧川仁子さん



8人参加

### コミュニケーション講座

2024 年 12 月 7 日 受講生 8 人  
講師：阿部侑生さん（コーチング研修会社ドリームフィールド代表）

はあと

## 東京都ひとり親家庭支援センター「はあと」（東京都受託事業）

東京都から都ひとり親家庭支援センターの 23 区分の委託を受け、2021 年 10 月から千代田区飯田橋で 2 拠点を運営しています。



## 「はあと」（新都心ビル内）

主に生活相談を行っています。生活相談の利用者は 3,853 人、9,141 件。養育費の一般相談は 2,171 人、4,045 件、専門家による養育費専門相談は 207 人でした。弁護士による離婚前後の法律相談は 396 人でした。

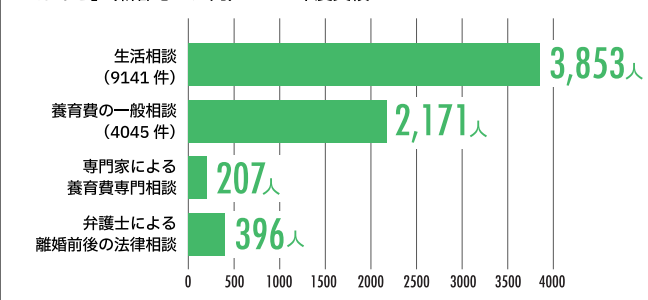
841件

親子交流（面会交流）  
支援事業

5回開催  
145人

離婚前後の  
親支援講座

「はあと」（新都心ビル内）2024 年度実績



親子交流（面会交流）支援事業は 841 件に対応し、16 家族が第三者機関を利用して交流しました。離婚前後の親支援講座は 5 回開催、のべ 145 人が参加しました。

## 「はあと飯田橋」（東京しごとセンター内）

2024 年は就業相談が 1,544 人、2,337 件。就業情報の提供では、求人は 524 人、145 件、就業実績は 53 人でした。のべ 614 人に就職後のアフターフォローを行いました。

6回開催  
230人

ライフプラン  
セミナー

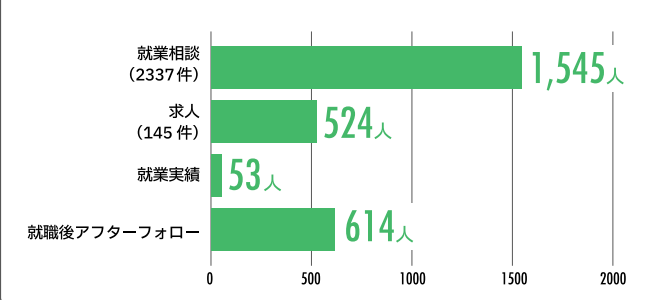
12回開催  
336人

就業支援講習会

10回開催  
367人

相談支援員研修会

「はあと飯田橋」（東京しごとセンター内）2024 年度実績



教育費や家計管理などについて学ぶライフプランセミナーを 6 回開催し 230 人が参加。動画作成やパソコンスキルや就業に必要なコミュニケーション等を学ぶ就業支援講習会を 12 回開催し、のべ 336 人が参加しました。支援者育成のための相談支援員研修会は 10 回開催し、367 人が参加しました。

## LINE 相談「はあとライン」 1,219 件 2,858 人登録

LINE 相談「はあとライン」のお友達登録者数は 2,858 人。年間を通じて 1,219 件の相談がありました。支援の普及啓発や情報提供のために「はあと通信」を年 3 回、「はあとメールマガジン」を月 2 回配信しました。

ひとり親向け  
教育費セミナー6月23日開催  
オンライン

50人参加

就労収入がなかなか上がらない中、「子どもの教育費をどう貯めたらいいの？」に応えるセミナーを開きました。講師はファイナンシャルプランナーで NPO や自治体での相談実績がある中島智美さん。50 人が参加しました。



中島 智美さん

離婚前後の  
法律セミナー2月15日開催  
対面@結・しぶや

11人参加

「離婚したいが何から進めていいかわからない」「子どもへの影響や経済的なことも心配」。そんな迷いや困難を抱える離婚前後の人に向けた法律セミナーです。講師は弁護士の折井純さん。11 人が参加しました。



折井 純さん

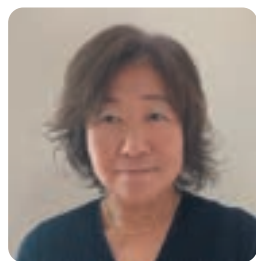
ひとり親家庭  
サポーター  
養成講座9月21日、22日開催  
オンライン

のべ70人参加

ひとり親家庭の支援に関わる団体や行政職員、地方議員を対象にした講座です。しんぐるまざあず・ふぉーらむの支援者養成は、ひとり親当事者の視点が入っているのが特徴。ひとり親と子どもたちを、より適切で質の高い相談や支援につなげるには支援者の育成や研鑽が不可欠という考えで実施しています。21 日は 41 人、22 日は 29 人が参加しました。



丸山 裕代さん



金澄 道子さん

## 1日目

- ・ひとり親家庭の現状と支援  
講師：NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長 赤石千衣子
- ・就労支援、ライフプラン、教育費  
講師：キャリアコンサルタント、社会福祉士 丸山裕代さん
- ・日本の離婚手続き、非婚の母の手続き  
講師：弁護士 金澄道子さん

## 2日目

- ・教育格差、体験格差解消を目指す取り組み  
講師：公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン代表理事 今井悠介さん
  - ・DV やトラウマからの回復支援  
講師：NPO 法人レジリエンス代表 西山さつきさん
- 2 日目の午後に事例検討のグループワークを行いました。



今井 悠介さん



西山 さつきさん

メールマガジンの  
発行

登録者数 13,135人



会員向けのメールマガジンを無料で月 3 回発行しています。しんぐるまざあず・ふぉーらむ主催のママカフェや講座の案内、食料支援や新入学お祝い金、親子イベントの募集などひとり親の暮らしを支える情報をお届けしています。求人情報も随時掲載しています。登録者数は1万3135人（2025年3月31日現在）。サポーターや寄付者、メディアのみなさまに向けた「サポーターメルマガ」も月 1 回発行しています。こちらは支援者向け講座の案内や月々の活動報告を掲載しています。

子育てシングルの  
応援サイト  
「イーヨ」

2020 年に開設した子育てシングルの応援サイトです。会員から募集した体験談をマンガやイラストを交えて紹介。共感を呼び、「シングルマザー」のワード検索では上位をキープしています。

教育費  
サポートブック

5,000部発行



教育費に不安を抱える親や子どもの不安を少しでも和らげ、教育費の準備をするためのお手伝いになればと発刊した「教育費サポートブック」。10 月発刊の 2024 年版は 5,000 部を発行。高等教育修学支援新制度の所得制限の緩和や多子世帯への支援拡充など、情報を最新のものにアップデート。急増する不登校や、障害をもつお子さんの、高校進学の実験談も掲載しました。10月20日には、発刊を記念したセミナーを開催。42 人が参加しました。ファイナンシャルプランナーの中島智美さんが、教育費を貯める方法、奨学金の賢い使い方を伝授。3 人の会員が不登校の子どもの高校進学について話しました。

団体の基盤強化  
の取り組み

2023 年 11 月に公表した会計不正問題を受け、2024 年 7 月、新監事として公認会計士の樋口哲朗氏、10 月には新理事として公認会計士の中釜和寿氏が就任。会計アドバイザーチームを設置し、再発防止と基盤強化の取り組みを進めました。

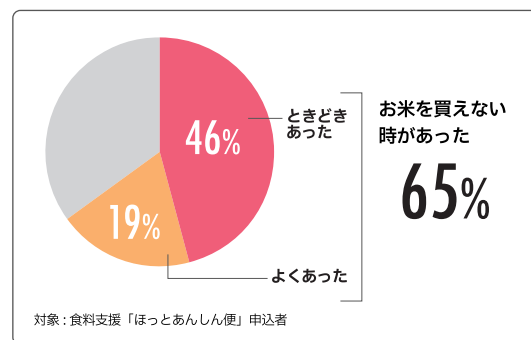


調査

2024ひとり親家庭就労生活調査

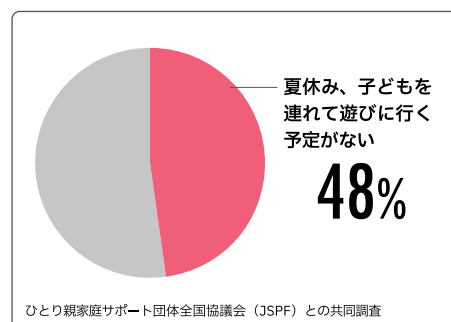
▶「お米を買えない時があった」65%～春調査～

食料支援「ほっとあんしん便」の申込者を対象に3月実施。3,219人が回答しました。お米を買えないことが「よくあった」19%、「ときどきあった」46%で計65%にのぼりました。買えない体験は「肉や魚」85%、「野菜」89%といずれも高く、物価高の深刻な影響が伺えます。2021年のコロナ時に全国パネル調査をした立教大学の湯澤直美教授は「買えない体験の比率は当時より上がっている」と指摘しました。



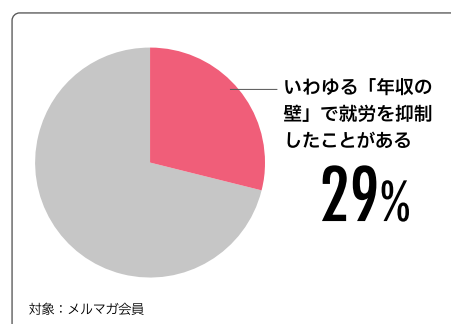
▶夏休みに遊びに行く予定がない」48%～夏調査～

ひとり親家庭サポート団体全国協議会（JSPF）との共同調査で、7月に実施。2,111人が回答しました。うち小中学生の子どもがいる1,500人に「夏休み、子どもを連れて遊びに行く予定があるか」を尋ねたところ、「ない」が48%と約半数を占めました。給食がない中、1日2食以下の子どものも3人に1人にのぼりました。酷暑の中、電気代節約のため、「エアコン使用を控えたい」も79%と高い比率でした。



▶「年収の壁で就労を抑制」29%～冬調査～

物価高などの影響を調べるため、メルマガ会員を対象に11月に実施。2,065人が回答しました。手当の所得制限など、いわゆる「年収の壁」で就労を抑制したことがある人は29%いました。その際の上限は児童扶養手当全部支給の「190万円」が24%、住民税非課税の「204万円～」が36%でした。自由記述には「収入が増えたら手当の対象から外れた。がんばると見捨てられるんだなと感じています」とありました。

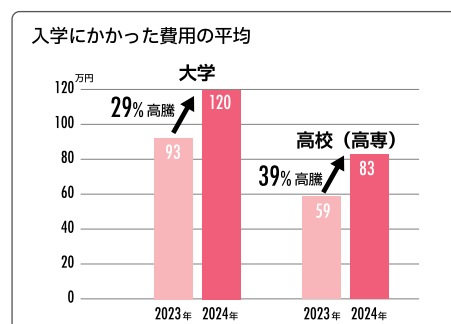


調査

新入学お祝い金アンケート

▶入学関連費用、5年前比で大学29%、高校39%増

2024年3月に新入学お祝い金を受け取った方を対象に実施、保護者647人、子ども289人が回答し、物価高の影響がくっきりと現れました。入学にかかった費用の平均は大学が120万円、専門学校が83万円、高校(高専)が43万円、小・中学校が17万円でした。物価高などを反映し、2019年の平均額と比べ、大学は29%増、高校は39%増。小学校も机やランドセルの高騰でほぼ倍増しています。



政策提言



「こどもの貧困解消法」が成立

しんぐるまざあず・ふぉーらむなど、困窮する子ども・若者支援に取り組む5団体が、子どもの貧困対策推進議員連盟と共同提案した「こどもの貧困解消法」が6月19日、成立しました。子どもの貧困対策推進法を改正し、貧困の内容を「適切な養育・教育・医療を受けられないこと、多様な体験の機会を得られないこと、権利利益を害され、社会から孤立すること」と具体的に定義。ひとり親に関わる部分では、貧困の指標として「養育費受領率」が加わり、「養育費の履行確保に向けた強化を図る」ことが付帯決議に盛り込まれました。



記者会見「ひとり親にとっての『年収の壁』引き上げを」

しんぐるまざあず・ふぉーらむなど、子どもの貧困対策に取り組む4団体が、ひとり親にとっての「年収の壁」である児童扶養手当の所得制限の額を引き上げるよう求める「共同要望書」を取りまとめ、12月6日に発表しました。



〈要望内容〉

児童扶養手当の「所得制限」の大幅な引き上げ

- ・一部支給：年収590万円
- ・全部支給：年収385万円
- 子ども1人あたり月額1万円増額
- ・児童扶養手当を子1人につき月1万円増額
- ・困窮ふたり親世帯に児童手当の上乗せ支給

他団体支援

だいじょうぶだよ！基金 第七次助成金

しんぐるまざあず・ふぉーらむがひとり親を支援する団体に助成する基金です。2024年5月に募集を行い、応募35団体から選考委員会が15団体を選出。総計940万円を助成しました。



JSPFがNPO法人化、第1回大会を東京で開催

ひとり親家庭サポート団体全国協議会（JSPF）がNPO法人として認証を受け、初めての大会を9月、東京・代々木で開きました。しんぐるまざあず・ふぉーらむを含む32団体が加盟（当時）。東洋大学の森田明美教授とともに「ひとり親家庭等日常生活支援事業」の調査を行い、利用率が低いものの有意義な事業であり、改善の余地が大きいことを明らかにしました。

## サポーターから一言

### 国際ソロプチミスト東京一弥生 鈴木淑子さん

女性と女兒を教育で支援する活動を行っています。しんぐるまざあず・ふぉーらむとは、会員に「夢を生きる」賞に応募していただいたり、「きらりチャレンジ」で高認試験受験を支援したりしています。時にはお米の支援も。「夢を生きる」賞を受賞された方が「こんなに大勢から応援し、認めてもらっている」と勇気づけられたと聞き、大変嬉しく思っています。将来のためにがんばるシングルマザーをこれからも応援します。



国際ソロプチミスト東京一弥生  
鈴木淑子さん

### 株式会社協和社長（ふわりい基金） 古田嶋徹さん

子どもたちの新しい一歩を少しでも明るく照らしたい——そんな想いから、私たちはランドセルを届け続けています。困難な状況にあっても、愛情と強さをもって子育てに向き合うお母さんたちを、心から尊敬しています。これからも「しんぐるまざあず・ふぉーらむ」の皆様と共に子どもたちの未来を支えてまいります。

### 一般社団法人栃木県若年者支援機構 中野謙作さん

「きらりチャレンジ」で添削指導に協力しています。私どもは長く子どもや若者の支援をしています。多くの割合でシングルマザーの方々にお会いします。みなさん、様々な困難を抱え、公的な支援も少ない中で必死に頑張られています。その方々に長きにわたり支援を届けているしんぐるまざあず・ふぉーらむはこの国に不可欠な存在です。これからも支援を継続され、シングルマザーに希望を届けてください。

### 就労支援「明日に花咲く」メンター 伊藤佐和さん

ひとりで何役もの重責を日々こなしながら、それでも笑顔を絶やさずに頑張るシングルマザーの皆さんの強さを尊敬です！ 忙しい中キャリアアッププログラムに参加し、未来を見据えて成長しようと努力する姿勢、そして子どもたちを第一に考える愛情にメンターとして深く感銘を受けました。しんぐるまざあず・ふぉーらむの活動が、皆さんの癒やしや支えとなり続けることを願っています。

### ほっとあんしん便の感想

ガソリンも光熱費も野菜も何もかもが値上がり。お給料が入ってもほぼ支払いで消えます。もう無理だよ？ どうしたらいいだろう、って本当に困り果てていました。子どものお年玉にさえこっそり手をつけて食料を買っているくらいです。子どもたちにお腹いっぱい食べさせてあげたい。そんな中に支援が届きました。我が家にとって救世主のお米です。

### 新入学お祝いランドセルの感想

とても大喜びで「欲しかった水色やー！」とずっと言っっては眺め、早く一年生になりたいとずっと言っています！とてもいい顔して私の方が嬉しい気持ちになりました！「汚したくないから来年まではちゃんと置いとくー」と言って大事に保管しています！

### 就労支援「明日に花咲く」の感想

講師の方々のお話を聴き、自分を肯定的に振り返る時間を取ることができ、より前向きな気持ちになりました。



### 親子イベントに参加して

自然にたくさん触れさせたいのですが、親ひとりで子どもを川に入れることは、心配とリスクがあったので、今回のような機会、本当に本当にありがたかったです!! 両親の揃っているファミリーが多い場所では、親子ともども少し複雑な気持ちになることもありますが、皆がひとり親のなかで遊べるとほっとする気持ちがありました。

### 「きらりチャレンジ」で高卒認定試験に合格して

合格してすごく自信ができました。高校2年で学校を辞めてしまっていたことがコンプレックスだった。それが取れて、世界が変わりました。母子家庭の状況をよくするカウンセラーになりたいと思っています。色々な資格も取りたいと考えています。

### マイ・ブック・プレゼントの感想

新品の、まったく折れない本を受け取り、「返さなくていいの？」が最初の言葉でした。「ゆっくり読みたい時に読めるよ」と伝えましたが、早速読み進めています。自分の本が子どもにとってどんなに嬉しいことなのかを実感しました。

## ご支援いただいた企業・団体のみなさま（五十音順）



アマゾンジャパン合同会社



荻蔵コンサルティング株式会社



株式会社カタログハウス



株式会社協和 ふわりい基金



TPR株式会社



デッカーズジャパン合同会社



株式会社日清製粉グループ本社



ヒューリック株式会社



フレックス株式会社



ボストン・サイエンティフィック  
ジャパン株式会社

株式会社アイモバイル・ふるなび／株式会社イマジンネクスト／ WeSupport Family（オイシックス・ラ・大地、RCF、ココネット）／ Ojigi Bunny Inc.／高知缶詰株式会社／こどもサポート証券ネット（日本証券業協会）／三栄製薬株式会社／生活協同組合コープみらい／ 認定NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン／株式会社セブン＆アイ・ホールディングス／株式会社大和証券グループ本社／株式会社 チュチュアンナ／東京麹町ロータリークラブ／株式会社東京スター銀行／ニットキュア株式会社／一般社団法人バンクフォースマイルズ／ 株式会社 ミツハシ／株式会社ロゴナジャパン

## 事業などのご協力をいただいたみなさま（五十音順）

公益財団法人あすのば／ NPO 法人ETIC.／株式会社エフ・エム・アイ／認定NPO 法人おてらおやつクラブ／公益財団法人 神奈川ゆめ 社会福祉財団／特定非営利活動法人キッズドア／国際ソロプチミスト東京一銀座／国際ソロプチミスト東京一弥生／ココネット株式会社／認定 NPO 法人サービスグラント／一般財団法人主婦会館／特定非営利活動法人セイエン／公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン／ 公益社団法人東京子ども子育て応援団／東京ステーションホテル／一般社団法人栃木県若年者支援機構／パルシステム共済生活協同組合 連合会／緑と農の体験塾／メイクスマイル

## 助成金／受託事業

### 助成金

一般社団法人こども宅食応援団／一般社団法人生活サポート基金

### 受託事業

内閣府／東京都／世田谷区／川崎市／茅ヶ崎市／調布市／富士見市

・ほかにもたくさんの企業、団体、個人の方にご支援、ご協力をいただきました。